

政策・提言文書の作成

座間直壯(さま なおよし)
(白百合女子大学)

1 使命書作成の目的 15:30~15:40

(1) 社会の理解を得る <5P>

図書館は単なる本を貸すだけのところではない。

図書館としての存在理由を明確にし、図書館の使命を明確に打ち出すこと。

(2) 図書館活動の拠り所とする <5P>

職員全員が一丸となって図書館活動に取り組むこと。

自館が取り組んでいるサービスの方向や内容が常に確認できること。

(3) 図書館を評価するための指標を得る <6P>

自館のサービス水準を知ること。

図書館法第7条の3

次に何をやらなければならないかを明らかにすること。

自館の現状を公開すること。

図書館法第7条の4

(4) 図書館運営の計画化

管理・運営・サービスなどの計画書を作成すること。(出来るだけ具体的に)

(3)の評価を踏まえ、次へのステップアップとしての計画書であること。

全職員が関わって作り上げること。

「これからの図書館像」(2006年3月)の、

3 これからの図書館経営に必要な視点

「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(2001年7月)の、

(3) 図書館サービスの計画的実施及び自己評価等

2 手順 15:40~17:10

(1) グループによる作業 4グループ (各グループ4人) 編成 別紙

最後に、モデル図書館を決めてグループ内での望ましい使命書を仕上げることを想定して様々な議論を深めていくことを心がける。

15:40～16:00

- 自館の基本（運営）方針，現状把握の結果を各グループ内で報告
- ・自分の図書館の重点目標
 - ・自分の図書館の強みと弱み
 - ・強みの拡大深化，弱みの克服
 - ・設置者がめざすものは，そして，図書館に求めていることは

16:00～16:20

- 図書館界を取り巻く状況（環境）の共通認識をはかる （20分）
- ・図書館界の現状
 - ・国の政策
 - ・社会的要請

16:20～16:25

休憩 （5分）

16:25～17:05

モデル自治体の図書館の使命書をグループの全員で作成 （40分）

（2）グループごとの発表 モデル館について （40分）

第1班	17:10	～	17:20	[図書館]
第2班	17:20	～	17:30	[図書館]
第3班	17:30	～	17:40	[図書館]
第4班	17:40	～	17:50	[図書館]

3 まとめ 17:50～18:00